

【目指す児童像】

やさしい子  
元気な子  
よく学ぶ子



ホームページ

はち まん

八幡の森

学校だより 第5号

令和5年7月7日

宇都宮市立昭和小学校

発行責任者 宮澤文洋

## 昭和小学校創立94周年

本校の創立記念日は、6月12日です。今年は創立94周年の学校朝会を実施しました。昨年度は「伝統」について子供たちに伝えました。今年度は、昭和小学校誕生から、現在の戸祭元町に新築移転するまでのドラマを、クイズも交えながら話してみました。その様子を御案内いたします。

今回の八幡の森は文字が多く、写真は少なめですが、どうぞお付き合いください。

まず、昭和小学校誕生についてです。本校は、昭和4年4月に宇都宮昭和尋常小学校として開校しました。同時に、栃木県師範学校附属小学校の代用校とされていました。戸祭小学校や東小学校も師範附属の代用校となっていた時期がありますので、それほど珍しいことではなかったようです。さて、学校の場所ですが、現在の栃木県総合文化センターの敷地に建てられました。正に栃木県のど真ん中です。それから、校名です。建てられた住所名で考えてみましたが、総合文化センターの住所は本町です。とすると、昭和という時代名に由来すると考えられそうです。創立当時の児童数は、305人でした。



そして、学校創立から16年後の昭和20年の夏、本校にとって1つ目の悲しい出来事が起きます。時は戦時中。焼夷弾爆撃により、本校は講堂を残して焼失してしまいました。そのことで、3年生から6年生は戸祭小学校と東小学校に分かれて学習しました。1年生と2年生は、焼け残った講堂で学習したとのこと。全校生が揃わない状況というのは、きっと不安だったと思います。その状況が、2年間も続きました。その後、昭和22年、校舎が復旧されます。「地域住民の尽力があった」と記録が残っていました。



しかし、喜んでいられたのはたったの1年間。想像を絶する2つ目の悲しい出来事が起きます。本校の廃校が、市議会で採択されてしまったのです。理由は、市役所の移転です。昭和小学校の児童は、東小学校と戸祭小学校に通学することも決まりました。この状況に対して、立ち上がった人たちがいました。再び、地域の皆様です。市議会に陳情を繰り返し「他に適当な土地が見つければ存続を認めましょう。」というところまでとりついたので。「自分たちで土地を探す？」そんな状況にもめげず、現在の土地を見つけてくださいました。もともと学校建築のためにあった土地ではなかったため、湿地でした。そこで、学校東側の「祥雲寺」さんの山の土をいただき、敷地を埋め立てたという記録が残っています。そうして、5年後の昭和28年6月12日、現在の戸祭元町に新築移転を果たしました。地域の皆様にはその都度、その都度助けていただき、現在の子供たちと出会えたことに、心から感謝です。



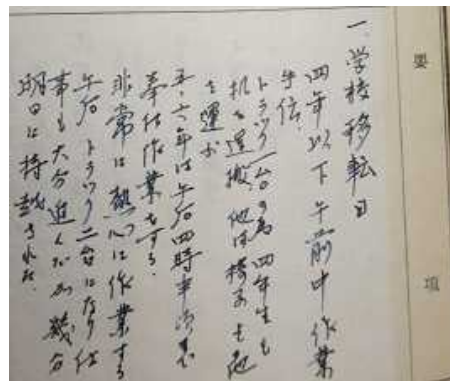
さて、始めの話題にもどります。創立記念日の6月12日は、現在の住所に新築移転し、引っ越しが完了した日を記念日としています。数々のドラマを振り返ると、4月ではなく、6月12日に設定した理由が理解できます。念のため、当時の学校日誌を探してみました。すると、間違いなく6月12日が学校移転日でした。そんな中、日誌に感動的な記事を見つけました。このような内容です。「4年以下、午前中

作業手伝」「5.6年は午後4時半頃まで奉仕作業をする。」「非常に熱心に作業をする。」とありました。通常、記事には「熱心に作業する」等は記入しません。きっと、子供たちの姿が、記事に残したいほどだったのでしょう。当時の日直の先生に感謝です。さて、令和の5.6年生も積極的に仕事を見つけ、よく働きます。あらためて、「昭和小学校の伝統の重み」を感じるとともに、素敵な学校であると実感しました。最後に、子供たちと、学校の94歳をお祝いし、これからも、みんなでよりよい学校をつくっていきましょうと確認し合いました。

続きがあります……。朝会当日の業間の時間、4年生の児童が校長室入口で呟きました。「校長先生、昭和小学校も大変だったね。」私の話は伝わった！と感じました。

それから、94周年記念として学校日誌を昇降口にて閲覧できるようにしたところ、低学年生から「校長先生、日記が見たい。」「日記を触ってみたい。」との御依頼が相次ぎ、解説をしながら日誌をめくり、当時の状況に思いを馳せました。今年の講話は上級生向きの内容でしたが、低学年生が学校日誌に興味をもち幸いでした。

『劫初よりつくり営む殿堂に われも黄金の釘1つ打つ/与謝野晶子』



## ☆☆☆星に願いを☆☆☆

6月24日、地域協議会「夢工房」主催の「七夕飾り」の竹の切り出しを行いました。PTA及び地域の皆様で、例年お世話になっている祥雲寺さんに行ってきました。切り出し後は、体育館玄関と通路近くに設置です。この七夕飾りは、平成22年から10年以上も続いており、本校の伝統行事になっています。お休みのところ作業に御協力くださった皆様、ありがとうございました。

そして、翌週にはそれぞれの短冊や自作のお飾りを結び付けました。その際には、友達の枝を持っていてあげたり、結び方を教えられたりと関わり合いながら活動していました。子供たちの願いを見てみると、自分の夢について、友達のこと、家族の幸せ、よりよい学校の実現、今後の日本について、そして世界平和と、日頃は賑やかに過ごしていますが、それぞれ真剣にいろいろと考えていることが伝わりました。思いやりにあふれた昭和小の子供たちなら、安心して未来の日本を託すことができると感じました。～星河一転～



## 学校相談日の案内

宇都宮市教育委員会では、体罰根絶のため全小中学校で学校相談日を設け、管理職者が直接、保護者の皆様からお話を伺う機会を設けることとしています。

そこで、本校では7月27日(木)・28日(金)の2日間を学校相談日に設定しますので、相談のある方は学校にお電話をいただき、校長または副校長に直接御相談ください。